

# 霜注意報に伴う農作物等の管理対策

令和2年3月18日  
新潟県農林水産部

3月18日11時40分に新潟地方気象台から霜注意報が発表されました。19日朝は霜に対する農作物の管理に対して注意が必要とのことです。また、これからの季節は、降霜被害を受けやすいので、農作物等の管理には十分注意してください。

## 1 野菜・花き共通

- (1) 茎葉が霜害を受けると病害の発生が懸念されることから、必要に応じて予防的な防除を行う。また、霜害の程度が軽く生育の回復が見込める場合、液肥の葉面散布やかん注を行い草勢の回復に努める。
- (2) 加温ハウスでは、夕方早めに内張り資材を閉め、温度保持に努める。
- (3) 無加温ハウスでは、夕方早めにハウスサイドの被覆を下ろし、夜間低温時に必要に応じて保温資材の被覆やストーブ等で加温を行う。
- (4) 施設栽培では、ハウス内が高温多湿にならないよう日中の換気に注意する。
- (5) 定植が延期できる生育ステージの苗は、定植作業を延期する。

## 2 果樹

- (1) 春先に実施する耙がらや稲わら等によるマルチ敷設は、地面からの放熱を妨げ、凍霜害を助長するため大型連休以降に行う。
- (2) 防霜対策として、専用固形燃料や「せん定枝チップ+灯油」等の燃焼方式を利用する場合は、事前に配置数や延焼防止対策をしっかりと確認するとともに、消防・近隣住民等必要な連絡手続きを徹底する。
- (3) 防霜ファンは必ず事前の動作確認を実施する。
- (4) 育成中の苗木や幼木は冬囲いによる防寒対策を徹底する。
- (5) 展葉期頃までのいちじくの一文字仕立栽培では、多孔質マルチシートやアルミ蒸着シートで樹体を覆う。
- (6) 無加温ハウスで、夜間から早朝にかけて低温が予想される場合は、保温のため、午後早めにハウスを閉める。また、必要に応じてストーブ等で加温を行う。  
また、ビニールの破損箇所を点検補修して保温に努める。